

養 氣 軒

ようきけん

『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』
そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。

●ようきけんとは「病む人の病のみならず心をも癒すことの出来るところ」という意味です。



着任のご挨拶

Arrival greeting : Akiko Nagaishi

2016年8月～1年間、2018年12月～1年間の合計2回・通算2年の国外留学（英国・オックスフォード大学ジョン・ラドクリフ病院、神経免疫研究室）から戻り、このたび長崎川棚医療センター脳神経内科に本格復帰することとなりました。

自費留学のため個人的に経済的負担があり、また合計2年も病院を離れることで残るスタッフの皆さん・担当患者さんにもご迷惑をおかけしたとは存じます。しかし、それらを考慮しても私にとってとても有意義な通算2年間でした。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。☞

（神経内科医長 永石 彰子）



ラドクリフカメラとオックスフォードの街並み

第2回・第3回 NKMC生涯教育講座を開催しました

教育担当看護師長 森 孝子

第2回は令和元年10月11日(金)、「熊本地震の経験踏まえた神経難病患者の災害対応」と題しまして、NHO熊本再春医療センター院長の上山 秀嗣先生をお招きし、ご講演頂きました。参加者は院外からも含め68名でした。

上山先生には、東日本大震災での救援活動のお話や、2016年の熊本地震の被災状況など、自らの体験を通して緊迫したお話を頂きました。特に神経筋難病患者さんの「緊急避難入院体制」について、災害に備えてどのような準備をしておくかなど、早急に整備しておく必要がある課題が明確になりました。また災害援助の考え方について、自助⇒共助⇒公助という知識を得たことも深い学びとなりました。

参加者からは、「神経筋難病患者さんの災害対策が具体的に理解できた」「災害に備え、日頃から患者やその家族への教育が必要なが分かった」「自助という災害援助について考えさせられた」「日頃から災害について準備しておくこと。また体験したことを活かすことが大切だと学んだ」などの意見がありました。

上山先生のご講演から得た学びを、すぐに活かしていくように体制を整備していきたいと思ひます。

第3回は令和元年10月17日(木)、「接遇は愛、そして生き方そのもの。そこに、医療ヒューマンズを考えて」をテーマに、Mission willミッションウィル代表 田中 恵子



先生にご講演頂きました。参加者は64名でした。

前半は、田中先生の実体験をお話して頂きました。患者側のご家族の立場からのお話で、医療者側で従事している私たちの言葉や態度1つ1つが、患者さんやそのご家族に、大きな身体的・精神的影響を与えていることを改めて感じることができました。田中先生のお話に感動し涙する参加者もあり、田中先生に心を動かされた時間となりました。また後半では、「まずは、自分に愛を。自分が大切な存在であることに気づいてほしい。つぎに、仲間に愛を。だれもが大きな影響力をもつことを理解してほしい」という田中先生からのメッセージに、心がとても軽くなりました。参加者からは「医療者が家族に与える影響を感じた」「自分の体験を通して話される内容が感動的だった」「患者さんの笑顔のために頑張りたいです」「高いスキルがあっても患者さんが受け入れることが出来なければ医療に満足できないことが分かった」などの意見がありました。

自分も他者も大切にする『接遇』の輪を長崎川棚医療センターで広げていけたらと思ひます。

Training report 【実習報告】

薬剤部実習報告

当院は、患者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、医療職を目指す学生の皆さんの実習の受け入れを行っております。

長崎国際大学薬学部5年生 相川 青夏

お忙しい中、11週間にわたるご指導ありがとうございました。実務実習中は、退院時服薬指導をさせていただきました。

患者さんの入院前の持参薬と退院処方での変更されている薬についての説明をさせていただきましたが、患者さんからの質問にうまく答えることができず、改めて私の知識不足と相手に説明する難しさを実感しました。

ご指導を行ってくださった薬剤部の先生方にはご迷惑をおかけすることが多々ありましたが、この実習中に学んだことを今後活かしていこうと思ひます。



今回、薬剤部での実習を終えられた学生の方から実習終了報告をいただきましたのでご紹介いたします。

長崎国際大学薬学部5年生 NAMWONJE

実務実習を行いながら、教科書だけでは学べないことを勉強できました。

病院薬剤師の利点として感じた部分は、調剤の際に患者さんの検査結果、状態観察の情報、服薬の有無などをカルテから確認し処方提案を行うことができること、服薬指導の際にもより長い時間話することができる患者さんの状態を詳しく知ることができる部分でした。

実務実習を行う前は、病院薬剤師は具体的にどんな仕事をするのか分かりませんでした。実習において薬剤師の先生方のNST、ICT、治験などの様々な業務を見て、病院薬剤師は様々な領域で活躍していることを学びました。

KTYの実施について

副診療放射線技師長 **有満 誠**

KYTという言葉をご存じでしょうか？KYTはK（危険）Y（予知）T（トレーニング）の略であり、今回は放射線科スタッフでKYTを実施しました。

写真はX線撮影室での一コマですが、この中にどのような危険因子があるでしょうか？いくつか具体例を挙げると、

- ・車いすの足台が下りたまま患者が立とうとして転倒する危険
- ・点滴スタンドが撮影台に干渉する危険
- ・足元のフットスイッチにつまずき転倒する危険

他にもありますが、このような危険因子を見つけ出し、必要な改善策を検討しました。

医療の現場では、様々な危険があります。定期的にこのような危険予知のトレーニングを行うことで、危険感受性の向上を図り、安全な医療を提供できるよう心がけています。

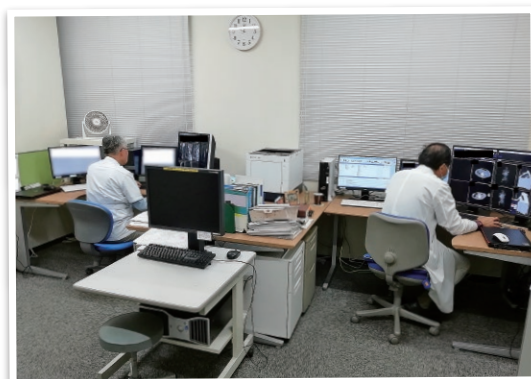


診療科紹介(放射線科)

放射線科医長 **岩野 文彦**

当院の放射線科には放射線科診断専門医2名が所属しています。近年増え続ける画像の種類や量、診断学の進歩などに伴い必要とされる放射線科医です。

患者さんの病態に合わせて検査の指示をし、出来上がった画像の確認後診断をし、レポート(画像診断書)を作成します。今では放射線科医の主な仕事がCTやMRIの診断になっています。作成されたレポートは完備された電子カルテからすぐに閲覧できます。最も重要な点は、各々の検査について、放射線科医も患者さんを良く知る主治医もその立場から診断し、ダブルチェックができることです。



各病院からのご紹介によるCT・MRI・RI・エコー検査なども年間1,000件程あります。近年では認知症の画像診断として、通常の頭部MRI・MRAに加えて、VSRAD解析を追加する症例が増えています。早期のアルツハイマー型認知症(AD)やレビー小体型認知症の診断鑑別に有用とされています。

当院放射線科が、地域の高度医療検査センターとしても機能していけるようにこれからも頑張っ参ります。

部署紹介(医療機器管理室)

医療機器管理室長 **津田 真実**

医療機器管理室は、院内で使用する医療機器の病棟への貸出・返却・点検などを行うところです。

共用できる医療機器は各科・各病棟で専有するのではなく管理室で中央管理することで、消耗の偏りをなくし、点検も専属スタッフが行うことで長く安全に使用することができます。患者さんが利用する場所ではありませんが、医療機器を通して患者さんにつながる部署です。



スタッフは臨床工学技士2名です。技士はこの管理室での業務以外にも使用中の人工呼吸器や、血液浄化装置などの機器の操作・点検のために病棟や、手術室など

院内全体で業務を行っています。

機器の多くは看護師が操作します。普段と違う音や、操作感といった看護師からの報告が、機器の異常を早期発見できる重要な情報となるため、他職種との連携も大切にし、安全な医療提供の一端を担っています。

外来担当医一覧表

2019年 12月9日現在



午前 の部		月	火	水	木	金
総合救急	内科	松屋 合歓	松屋 合歓	二宮 暁代	木村 博典	松本 章子
	外科	寺田 隆介	戸田 啓介	野田 満	野田 満 宮下 光世	寺田 隆介
総合診療内科	新患・再来		大野 直義		大野 直義	
脳神経内科	新患	成田 智子		富田 祐輝	福留 隆泰	永石 彰子
	再来	福留 隆泰 永石 彰子	成田 智子	成田 智子	富田 祐輝	福留 隆泰 松尾 秀徳(長崎病院)
代謝内科	新患・再来		木村 博典	木村 博典		
循環器内科	新患	二宮 暁代				二宮 暁代
	再来	二宮 暁代			二宮 暁代	二宮 暁代
消化器内科	新患		植木 俊仁	松本 章子		
	再来	松本 章子			植木 俊仁	
外科	新患・再来		寺田 隆介 藤岡 ひかる	宮下 光世	寺田 隆介 藤岡 ひかる	宮下 光世
整形外科	新患・再来	藤本 勝也 小林 恭介(長崎大学)	藤本 勝也	藤本 勝也 野村賢太郎(長崎大学)	藤本 勝也	藤本 勝也
脳神経外科	新患・再来 脳ドック	野田 満	野田 満	戸田 啓介		戸田 啓介
皮膚科	新患・再来		清原 龍士	清原 龍士	清原 龍士	清原 龍士
泌尿器科	新患・再来	応援医師(佐賀大学)		応援医師(佐賀大学)		
小児科	新患・再来	小森 一広	小森 一広	小森 一広	小森 一広	小森 一広
内視鏡 9:00~		植木 俊仁	松本 章子	植木 俊仁	松本 章子	植木 俊仁
ドック・健康診断					松屋 合歓	
肝臓外来 (第4木曜日のみ)					八橋 弘 (長崎医療センター)	

午後 の部		月	火	水	木	金
総合救急	内科	富田 祐輝	福留 隆泰	大野 直義 小森 一広	植木 俊仁	(輪番)
	外科	戸田 啓介	戸田 啓介	野田 満	寺田 隆介	野田 満
外科 (14~17時)	新患・再来	黒木 保(長崎医療センター) 藤岡 ひかる				
小児科 (18時まで)	新患・再来	小森 一広		小森 一広	小森 一広	小森 一広
特殊外来 (要予約)		[ペースメーカー] 二宮 暁代 14:00~16:00 [小児科予防接種] 小森 一広 13:30~17:30	[乳腺専門] 原 信介 毎月第4火曜日 13:00~17:15			

- ① 外来受付時間は、午前8時30分~11時です。
- ② 糖尿病教室は第1、2、3水曜日14時15分~15時に6階病棟カンファレンス室にて開催しております。
- ③ 土曜日・日曜日・祭日・年末年始(12/29~1/3)は休診です。
- ④ セカンドオピニオン外来を実施しています。
- ⑤ 健康診断は完全予約制です。事前にご連絡をお願いいたします。
- ⑥ 救急の場合は、休診日でも診療いたします。
- ⑦ 小児科予防接種は完全予約制です。事前にご連絡をお願いいたします。

独立行政法人 国立病院機構
長崎川棚医療センター
〒859-3615 長崎県東彼杵郡川棚町下組郷2005-1
TEL **0956-82-3121** FAX **0956-83-3710**
連携室FAX **0956-82-2280 0120-82-2970**

編集後記

企画課長 石川 秀利

めつぎり冷え込むようになり、5月に改元となった令和元年もあと僅かとなりました。さて、本号で紹介している「第2回NKMC生涯教育講座」では熊本再春医療センター院長の上山先生より災害対応などについて講義があり興味深く拝聴しましたが、折しもその翌日から関東地方を襲った台風19号は、史上希に見る強力な勢力だったため各地に甚大な被害が発生し、連日報道

が行われたことは記憶に新しいことと思います。被災者、被災地の一日も早い復旧を心よりお祈りします。当院も9月に台風による停電に見舞われました。幸い大事には至りませんでしたが、台風・地震など今まで経験の無い災害がいつ何処で発生してもおかしくない状況となっています。災害に関する正しい知識を身につけ適切な行動がとれるようにしたいと思います。

●「養氣軒」はホームページでもお読みいただけます→[http\(s\)://nkmc.hosp.go.jp](http(s)://nkmc.hosp.go.jp)